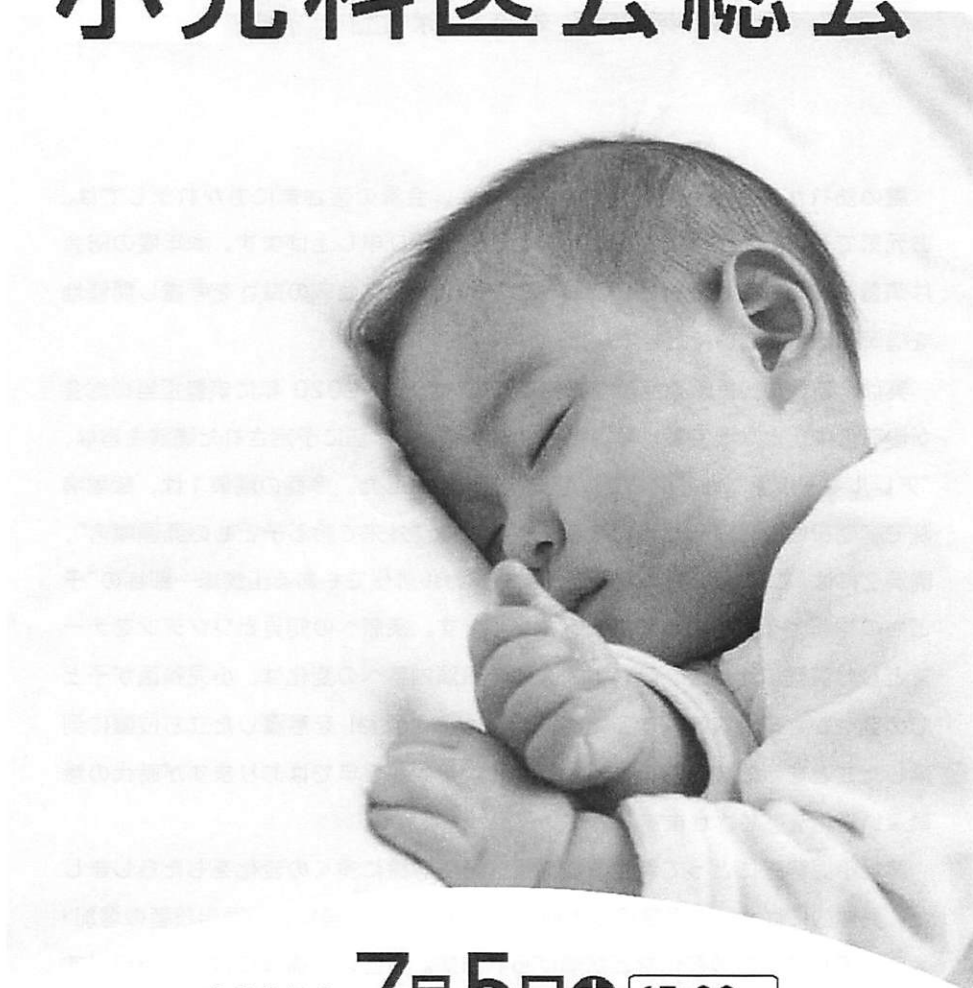


第61回

福岡県

小児科医会総会



2025年7月5日(土) 15:00~

博多エクセルホテル東急 2F[ソレイユ]
福岡県福岡市博多区中洲 4-6-7 / TEL.092-262-0109

懇親会 19:30~ | 博多エクセルホテル東急 2F[ソレイユ]
会費 15,000 円

福岡県小児科医会事務局

〒819-0006 福岡市西区姪浜駅南2丁目31番地2号
もとやま小児科クリニック内 TEL.092-883-7415 / FAX.092-883-7423

第61回福岡県小児科医会総会

会頭挨拶

筑豊小児科医会 会長 森田 潤

夏の訪れが感じられる季節になりました。会員の皆さまにおかれましては、お元気で充実した日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。本年度の総会は筑豊小児科医会がお世話いたしますが、交通アクセスの良さを考慮し開催地を福岡市とさせていただきました。

実は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡がり始めた2020年に筑豊担当の総会が直前に中止となっており再挑戦となります。5年前に予定された講演主旨は、“アレルギー疾患”と“ワクチン医史”でありました。今回の講演1は、飯塚病院で初期研修を修了した市河茂樹先生による“外来で診る子どもの発達障害”、講演2には「こども六法」の著者でミュージカル俳優でもある山崎総一郎様の“子どもの理解力を見極める”が両タイトルです。疾患への知見とワクチンをテーマとした前回に比して、若いお二人のご講演内容への変化は、小児科医が子どもの健やかな成長を確保するために psycho-social を意識した立ち位置に到達したことを示唆するものと思われます。たかが5年ではありますが時代の意義深い変化を感じさせます。

実地小児科医にとって新型コロナ禍は日常診療に多くの変化をもたらしました。具体的には、乳幼児健診の個別化・ICTの活用・不登校と小児自殺者の増加・メディアリスクの顕在化などが挙げられます。今回の2講演により、後戻りすることのできない次なる曲がり角に対応するための新たな方針や態勢を整える一助となれば幸いです。

皆さまと共に有意義な時間を過ごせることを心より願っており、多くの方のご参加をお待ちしております。

令和7年6月吉日

総 会

15:00～16:00

博多エクセルホテル東急 2F [ソレイユ]

- ① 会長挨拶 (黒川 美知子)
- ② 会頭挨拶 (森田 潤)
- ③ 議長選出
- ④ 物故会員への黙祷
- ⑤ 庶務報告
- ⑥ 各地区からの報告
- ⑦ 日本小児科医会関係報告
- ⑧ 協議事項
- ⑨ 2026年総会のお知らせ
(宗像小児科医会会長 樋口 貴文)
- ⑩ その他

石博への障害児紹介
・周産期
・学校保健
・メンタルを含む

ご挨拶

16:00～16:30

博多エクセルホテル東急 2F [ソレイユ]

ご挨拶 自見 はなこ 先生 [前内閣府特命担当大臣、参議院議員]

釜沼 敏 先生

[日本医師会副会長、小児科医師、日本医師連盟推薦、自民党参議院比例区支部長]

座長 進藤 静生 先生 [自見はなこ議員を支える福岡県小児科医の会 会長]

講演会

16:40～19:00

博多エクセルホテル東急 2F [ソレイユ]

講演

①

外来で診る子どもの発達障害 ～発達障害は Common Disease ?～

講師 市河 茂樹 先生 [安房地域医療センター小児科]

座長 森田 潤 [福岡県小児科医会 副会長]

16:40～17:40

- 日本小児科学会 新専門医制度 iii)小児科領域講習 1単位
- 日本医師会 生涯教育制度 1単位 (CC72) が取得できます

講演

②

こどもの理解力を見極める

講師 山崎 聡一郎 様 [こども六法著者、教育研究者、ミュージカル俳優]

座長 黒川 美知子 [福岡県小児科医会 会長]

17:50～18:50

休 憩

19:00～19:30

博多エクセルホテル東急 2F [ケヤキホール] ウェルカムドリンク付き

懇親会

19:30～

博多エクセルホテル東急 2F [ソレイユ]

令和7年度 福岡県小児科医会 総会

日時：令和7年7月5日（土曜日）

【式次第】

- | | | | |
|-------------------------|-----------|---------------|---------|
| 1. 会長挨拶 | 黒川美知子 | 福岡県小児科医会・会長 | |
| 2. 会頭挨拶 | 森田潤 | 筑豊小児科医会・会長 | |
| 3. 議長選出 | | | |
| 4. 物故者への黙祷 | | | (資料 1) |
| 5. 庶務報告 | 元山浩貴 | 福岡県小児科医会 庶務 | (資料 2) |
| 6. 各地区からの報告 | | | |
| 1) 福岡ブロック | 稲光毅先生 | 福岡地区小児科医会 会長 | (資料 3) |
| 2) 宗像ブロック | 樋口貴文先生 | 宗像小児科医会 会長 | (資料 4) |
| 3) 北九州ブロック | 古賀一吉先生 | 北九州地区小児科医会 会長 | (資料 5) |
| 4) 筑豊ブロック | 森田潤先生 | 筑豊小児科医会 会長 | (資料 6) |
| 5) 筑後ブロック | 長井健祐先生 | 筑後小児科医会 会長 | (資料 7) |
| 7. 日本小児科医会関係報告 | | | |
| 1) 理事会 | | 石崎義人先生 (紙上) | (資料 8) |
| 2) 乳幼児学校保健委員会 | | 石崎義人先生 (紙上) | (資料 8) |
| 3) 子どもの心相談医認定審査委員会 | 吉田ゆかり先生 | | (資料 9) |
| 4) 子どもとメディア委員会 | | 佐藤和夫先生 (紙上) | (資料 10) |
| 5) 国際委員会 | | 進藤静生先生 | (資料 11) |
| 6) 小児救急委員会報告 | | 神薗淳司先生 (紙上) | (資料 12) |
| 8. 協議事項 (資料 13) | | | |
| 第 1 号議案：福岡県小児科医会役員改選の件 | | | |
| 第 2 号議案：R6 年度決算の件 | | | |
| 第 3 号議案：R7 年度予算の件 | | | |
| 第 4 号議案：福岡県小児科医会・会費改定の件 | | | |
| 9. 2026 年総会のお知らせ | | | |
| 担当地区：宗像小児科医会 | 会長 樋口貴文先生 | | |
| 10. 第 78 回九州小児科学会のご案内 | | | |
| 11. その他 | | | |

資料 1

物故者への黙とう

●福岡地区小児科医会

安川 淳（やすかわ あつし）先生 2024/9/8 ご逝去 享年：95 歳

●北九州地区小児科医会

津田 文史朗（つだ ふみしろう）先生 2024/11/9 ご逝去 享年：74 歳

●宗像小児科医会

宮原 俊彦（みやはら としひこ）先生 2024/8/13 ご逝去 享年：87 歳

●筑豊小児科医会

大野 宏明（おおの ひろあき）先生 2024/8/14 ご逝去 享年：93 歳

●筑後地区

牛島 繁（うしじま しげる）先生 2024/6/3 ご逝去 享年：97 歳

資料 2 庶務報告

福岡県小児科医会 庶務 元山浩貴

A) 会員移動 令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日)

会員総数 383 名 (+3) (前年 380)

- 福岡地区 161 (前年 159)
- 北九州地区 104 (前年 103)
- 宗像地区 19 (前年 19)
- 筑豊地区 27 (前年 27)
- 筑後地区 72 (前年 72)

入会 + 8 (+9)

●福岡地区 +3

- 小野 宏彰 先生 大池おのこどもクリニック
- 檜崎 亮 先生 医療法人育慈会 ならざき小児科
- 松本 翼 先生 医療法人 まつもと小児科医院

●北九州地区 +2 (+3)

- 川越 倫子 先生 医療法人医和基会 戸畑総合病院
- 山下 風子 先生 風の子クリニック
- 河原 隆浩 先生 かわはらこども・アレルギークリニック (R7.5 入会手続き中)

●宗像地区 +1

- 森 聡子 先生 医療法人 あいだ医院

●筑豊地区 +1

- 波多江 健 先生 嘉麻赤十字病院

●筑後地区 +1

- 木附 京子 先生 医療法人 きつきこども発達クリニック

退会 (逝去) - 4

●福岡地区 +/-0 (退会後会友の先生の為カウントは+-0)

- 安川 淳 (ミヤカワ アツシ) 先生 逝去年齢: 95 歳 2024.9.8 逝去

●北九州地区 -1

津田 文史朗（ツダ フミシロウ）先生 逝去年齢：74 歳 2024.11.9 逝去

●宗像地区 -1

宮原 俊彦（ミヤハラ トシヒコ）先生 逝去年齢：87 歳 2024.8.13 逝去

●筑豊地区 -1

大野 宏明（オオノ ヒロアキ）先生 逝去年齢：93 歳 2024.8.14 逝去

●筑後地区 -1

牛島 繁（ウシジマ シゲル）先生 逝去年齢：97 歳 2024.6.3 逝去

退会（逝去以外） - 1

●福岡地区 -1

市丸 智浩（イチマル トモヒロ）先生 医療法人吉松会 照葉浅部クリニック

●北九州地区 +/-0

●宗像地区 +/-0

●筑豊地区 +/-0

●筑後地区 +/-0

種別変更

●福岡地区

松尾 誠 先生 松尾小児科医院 →自宅会員

●北九州地区

なし

●宗像地区

なし

●筑豊地区

なし

●筑後地区

なし

B) 福岡県小児科医会・役員

R7 年度役員

会長	黒川 美知子	福岡地区	くろかわみちこ小児科クリニック
副会長	稲光 毅	福岡地区・会長	いなみつこどもクリニック
	樋口 貴文	宗像・会長	ひぐちこどもクリニック
	古賀 一吉	北九州地区・会長	あだち古賀クリニック
	森田 潤	筑豊・会長	こどもクリニックもりた
	長井 健祐	筑後・会長	長井小児科医院
常任理事	神蘭 淳司	小児救急	聖ルチア病院
	青木 真智子	広報・学術	青木内科循環器科小児科クリニック
	寺澤 健二郎	保険	寺沢病院
	元山 浩貴	庶務	もとやま小児科クリニック
	田中 美紀	会計	田中医院
理事	中山 英樹	福岡地区・副会長	桜坂なかやまこどもクリニック
	山本 剛	福岡地区・庶務	やまもとこどもの診療所
	城谷 吾郎*	宗像・副会長	医療法人 共立医院
	片山 幸樹	宗像・庶務	片山医院
	小松 千代*	北九州地区・副会長	小松医院
	佐藤 東	北九州地区・庶務	おおてまちキッズクリニック
	田中 信夫	筑豊・副会長	たなかのぶお小児科
	岡松 由紀	筑豊・庶務	飯塚病院 小児科
	津村 直幹	筑後・副会長	つむらファミリークリニック
	一ノ瀬 英史	筑後・庶務	いちのせファミリークリニック
監事	下村 国寿	福岡地区	下村小児科医院
	進藤 静生	福岡地区	しんどう小児科医院
参与	旭 隆宏	宗像地区小児科医会	あさひ小児科クリニック
	吉田 雄司	北九州地区小児科医会	よしだ小児科医院

(* 県小児科医会年度内改選役員、R7 年度総会にて承認上程予定)

日本小児科医会関係役員	下村 国寿	九州小児科医会会長	下村小児科医院
	石崎義人	日本小児科医会・理事	いしざき小児科クリニック
		乳幼児保健委員	
	吉田 ゆかり	子どもの心相談医認定審査委員	よしだ小児科医院
	佐藤 和夫	子どもとメディア委員	ときつ医院
	進藤 静生	国際委員	しんどう小児科医院
	岡田 純一郎	国際委員	岡田こどもクリニック
	神園 淳司	小児救急医療委員	聖ルチア病院
	梶原 康巨	医会保険審査員	戸畑総合病院 小児科

C) 各種会議・研修会

1) 総会

R6 年度・第 60 回福岡県小児科医会（令和 6 年 7 月 6 日、土曜日 久留米翠香園ホテル）
参加者 74 名、委任状 274（参加者含む）、会員総数 380 名にて総会は成立

協議事項

第 1 号議案：福岡県小児科医会役員改選の件

筑後および筑豊小児科医会役員改選に伴い、R6 年度役員のうち、筑後地区選出の理事
1 名（津村直幹氏）筑豊地区選出の理事 1 名（岡松由紀氏）を新たに任命する
尚、任期は 1 期 2 年とす

第 2 号議案：福岡県小児科医会業務の一部外部委託等の件

現在庶務が行っている名簿管理・総会等出欠返信管理業務を ケンイ（福岡県医師会の
外郭団体）へ委託する（委託料：50,800 円/年）。また総会関連印刷委託先をテルラ企画
より松古堂へ変更する（43,890 円委託費減額の見込み）

第 3 号議案：慶弔にかかる内規の変更の件

規定の追加（叙勲、褒章等、受賞された会員には、役員会で承認の上、2 万円のお祝い
金を贈る）

第 4 号議案：R5 年度決算の件

第 5 号議案：R6 年度予算の件

→ 以上 5 議案すべて過半数にて可決承認された

2) 第 5 回役員研修会

1) 日時：令和 6 年 9 月 28 日（土曜日） 17：00～20：30

2) 場所 天神テルラ

福岡県福岡市中央区渡辺通 5-25-18 天神テルラビル

3) 式次第

i) 会長挨拶：福岡県小児科医会 会長 黒川美知子 17：00～17：10

ii) 講演：17：15 から 18：45

4) 演題：「令和 6 年度働き方改革に伴う各地区急患診療センターの現状と課題」

福岡地区小児科医会会長 : 稲光 毅 先生
北九州地区小児科医会会長 : 古賀 一吉 先生
筑豊小児科医会庶務 : 岡松 由紀 先生
筑後小児科医会会長 : 長井 健祐 先生
宗像小児科医会副会長 : 宮原 道生 先生

R6 年度働き方改革に伴う急患センター出務人員の減少への影響と対応につき協議された。

参加人数：研修会懇親会ともに 26 名（役員以外：福岡 4、宗像 1、北九州 3）

3) 会長副会長会

1) 日時：2025 年 3 月 1 日（土）

2) 協議事項

1. R7 年度総会における協議事項
2. R8 年度総会開催地区確認→宗像小児科医会
3. R9 年度総会開催地区確認→北九州地区小児科医会
4. R7 年度役員交代の件
北九州地区、宗像地区交代予定
5. R6 年度決算
6. R7 年度予算
7. 今後の会費値上げにつき
総会等費用高騰、会費免除高齢会員の増加による減収等につき会費値上げの検討
→開業医 12,000 円→15,000 円へ、勤務医 5,000 円→6,000 円へ
支出の削減：各種学会への補助額の減額
増収：医報広告の強化、総会懇親会の会費増額（10,000 円→15,000 円へ）
→役員会、総会へ上程
8. R7 年度役員研修会
日程確認：R7 年 9 月 27 日 土曜日
演題協議：「電子母子手帳について（北九州地区担当）」
演者：徳永洋一先生（とくなが小児科クリニック）とする
9. 九州医師会医学会・九州小児科学会 準備委員会報告
R7 年度九州小児科学会を福岡県小児科医会が担当する。
日程：R7 年 11 月 29-30 日
会場：ソラリア西鉄ホテル
会長：福岡大学小児科学教室主任教授永光信一郎先生

基調講演：

「小児医療の未来を切り拓く～全ての子ども達に輝かしい未来を～」

日本小児科学会会長 京都大学大学院医学研究科

発達小児科学講座 教授 滝田 順子 先生

特別講演

「最近増えているこどものおなかの病気

～機能性消化管疾患と炎症性腸疾患を中心に～」

久留米大学医学部 小児科学講座 教授 水落 建輝 先生

一般演題：15 題募集予定

事務局：福岡大学病院小児科学教室、福岡県小児科医会

4) 役員会

1. 日程：2025 年 5 月 16 日（金曜日）
2. 会長副会長会での協議事項につき確認と承認
3. 役員交代

北九州地区未定、

宗像地区 宮原道夫先生（宮原小児科医院）→城谷五郎先生（医療法人 共立医院）

庶務より

少子化に感染症の減少など、小児科医院運営には厳しい時代がやってきています。先生方に置かれましては気苦勞も多い中、県小児科医会の運営にご協力賜り誠にありがとうございます。さて、R6-7 年度も例年通り、総会各種会議滞りなく行われております。R6 年度にご承認いただいた名簿管理委託により庶務の業務も随分とスリム化できました。R 7 年度総会では会費の値上げを上程することになっております。総会の会場費、会食費、講師招聘の交通費宿泊費などメインとなる大きな支出が増大し運営を圧迫しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

文責：庶務担当 元山浩貴（もとやま小児科クリニック） 2025.6.21

資料3 ブロック報告 福岡地区小児科医会

会長 稲光毅

1. 会員数：161名（令和7年5月31日現在）

福岡市：109名

（東区23名、博多区13名、中央区12名、南区17名、
城南区11名、早良区15名、西区18名）

福岡市外：~~51~~名 52名

（筑紫地区28名、粕屋地区17名、糸島地区7名）

2. 会員移動（令和6年6月1日～令和7年5月31日）

逝去退会：1名

入会：4名

退会：1名

3. 役員名・役職

会長 稲光 毅

副会長 中山 英樹

副会長 青木 真智子：医事調停

理事 山本 剛：庶務

理事 牛ノ濱 大也：渉外・福祉

理事 大嶋 昭雄：会計

理事 權藤 健二郎：小児保健

理事 下村 豪：出務・地域医療

理事 堤 康：学術・会報

監事 高岸 智也

監事 植山 奈実

監事 石崎 義人

4. 活動報告

1) 時間外診療体制に関して

令和6年4月から、医師にも働き方改革（労働時間規制）が適用となり時間外診療への影響が懸念された。福岡市急患診療センターでは、それまで開業医（会員）枠の4割以上を勤務医が出務していたが、会員が自らの出務枠を交代せず出務すること、準夜・深夜の勤務時間帯の区切りの変更、専任医師の増員が行われ、大学病院・勤務医会の協力のもと、対応時間の変更はなく運営されている。糸島地区、粕屋地区、筑紫地区においてもほぼこれまで通り時間外診療が行われている。

2) 乳幼児健診に関して

令和 5 年 8 月 1 日から 4 か月児健診を対象とした「福岡市乳幼児健診情報のデジタル化事業」がスタートした。令和 6 年 2 月 1 日には 10 か月児健診へ拡大され、令和 7 年 4 月 9 日時点で福岡市内の乳幼児健診実施医療機関 129 医療機関のうち 91 医療機関（70.5%）が登録している。保健センターでの集団健診（1 歳 6 か月児、3 歳児）でも運用が始まっているが、受診者の利用率は 20%にとどまっており、その活用に大きな課題を抱えている。1 か月児健診、5 歳児健診について、1 か月児健診は、福岡市はじめほとんどの自治体で令和 7 年度中に個別健診として開始される予定。これまで 1 か月児健診はほとんどが産婦人科で行われてきたが、福岡市をはじめ小児科でも実施する枠組みが検討されている。5 歳児健診については一部の自治体は令和 7 年度に試行を行うが、半数の自治体で開始の目処が立っていない。

3) 丹々会講演会

令和 7 年 5 月時点で 536 回の講演会を開催。8 月、12 月を除く年間 10 回開催。そのうち 1 回は耳鼻科医会との合同で開催。別に年 1 回産婦人科との合同講演会を行っている。

4) 勤務医会との連携

合同で「福岡地区小児科症例検討会」を年 1 回開催。また、病院小児科勤務医・療育センタと丹々会役員との合同懇談会も年 1 回開催し急患診療センターの出務状況を含め福岡地区の小児医療体制について情報共有している。

5) 乳幼児健診マニュアル編集委員会

丹々会乳幼児保健委員会編集の『第 7 版乳幼児健診マニュアル』（医学書院）が令和 7 年 1 月に出版された。1 か月児健診が公費健診となることなどを踏まえた改訂を行った。

6) 学校健診

福岡市医師会は、令和 6 年度から新たに教育委員会と小児科を含む専門医会が直接に話をする場を設けた。今、着衣か脱衣かの問題が、学校医と学校（教育委員会）の間での揉め事となっているが、それはおかしいのではないか。今の厳しい社会環境の中で、様々な家庭環境におかれたこどもたちの健やかな育ちを、保護者とは違った立場で見守るのが学校、学校健診であり、こどもたちの健康を見守る責任は学校にある。学校として、こどもたちの健康を見守る役割を果たすためには、学校健診にどう取り組むべきか、学校が主体的に責任をもって考えるよう申し入れを行った。また、学校健診の実施にあたっては、事前に学校医と学校が打ち合わせをすることを改めて確認した。

資料4 ブロック報告 宗像小児科医会

会長 樋口貴文

<会員数> 令和7年5月31日現在

*宗像地区（宗像医師会）：宗像市、福津市

正会員：19名（宗像医師会に属する小児科専門医、2病院と10診療所）

準会員：15名（他の診療科の医師8名と地区外の小児科専門医7名）

<会員異動>

新規入会：1名（正会員）

逝去退会：1名（正会員）

<役員交代>

副会長：宮原道生先生 一城谷吾郎先生（2025年4月～）

<活動報告>

- ① 総会：4月開催
- ② 例会講演会等：8回（Web講演1回・ハイブリッド講演1回を含む）
- ③ ペリネイタルビジット：平成31年1月開始、宗像医師会の予算で運営、月10件程度の紹介
- ④ トリプルPによる子育て支援事業：平成30年開始、宗像医師会と福岡女学院大学との協働事業（ファシリテータ養成・グループワーク実施・市民公開講座開催・宗像市乳幼児健診への介入など）
- ⑤ 乳幼児健診事業：4か月・1歳6か月・3歳児健診は集団、7か月または10か月児健診は個別、5歳児健診は宗像市のみ園医方式で実施、1か月児健診は現時点で両市とも支援事業化の予定はない
- ⑥ 宗像地区急患センター：主に大学病院からの派遣医師、日曜日の日勤は地元医師、深夜帯も診療、地元医師による365日オンコール体制、運営協議会の毎月開催
- ⑦ ワクチン・乳幼児健診に関する行政との担当者連絡会：年1回程度（令和6年8月開催のテーマは「妊婦へのRSVワクチンおよび非リスク乳児へのRSV抗体製剤投与の公費化について」、講師は九州大学の古野憲司先生）
- ⑧ 会報作成：月1回発行
- ⑨ 第62回福岡県小児科医会総会：宗像地区が担当、開催日は令和8年7月4日（土）、会場は宗像地域医療センター3階講堂および魚屋別館（宗像市神湊）

資料5 ブロック報告 北九州地区小児科医会

会長 古賀一吉

- ① 北九州地区小児科医会の会員総数： 250 名
(会員内訳：開業医 89 名、勤務医 149 名、自宅会員 10 名、顧問 2 名)
(地域別数：北九州市 226 名、遠賀中間 13 名、京築 7 名、地区外 4 名)
- ② 福岡県小児科医会の会員総数：105 名 (増減+3)
会員移動：入会 5 名、退会 1 名、逝去 1 名、種別変更なし
- ③ 主な活動報告
 - 1) 令和 6 年 9 月 15 日に創立 60 周年記念式典を開催して、産業医科大学小児科学講座教授 深野玲司先生の記念講演および記念祝賀会を行った。
 - 2) 令和 7 年 5 月 18 日に定期総会を開催して、久留米大学小児科学講座教授 水落建輝先生の特別講演および会員懇親会を行った。
 - 3) 学術委員会：Web もしくはハイブリッドで学術講演会を 10 回開催した。
 - 4) 発達障害・療育対策委員会：北九州市立総合療育センターと合同で発達障害地域連携相談会を you tube で配信した。
 - 5) 小児在宅委員会：医療的ケア児など在宅医療支援体制の充実を目的に活動しており、北九州小児在宅医療セミナーを 4 回開催した。
 - 6) 小児保健研究会推進委員会：北九州市小児保健研究会で 4 題の調査研究を行い、多職種連携の研修会を開催した。
 - 7) 広報・ホームページ委員会：会員専用のメーリングリストを用いて各種情報を共有しており、北九州地区小児科医会の会報に加えて他地区から提供される会報も同様に配信している。
 - 8) 乳幼児学校保健委員会：「母子モ」を使用した乳幼児健診のデジタル化事業も参加施設の増加に伴い軌道に乗ってきており、アプリの改善に注力している。また、令和 7 年秋から 1 か月児健診を開始する予定であり、北九州産婦人科医会、北九州市医師会、行政と連携して準備を進めている。5 歳児健診については健診方法、事後の対応も含めてハードルが高く、来年度以降の開始を目指しているがまだ目途が立っていない。
 - 9) ペリネイタルビジット運営委員会：産婦人科、精神科との合同委員会を 3 回、合同研修会を 2 回開催した。今後は 1 か月児健診との関連で、母親の来院時期を出産前にシフトする予定で検討している。
 - 10) 小児の救急医療体制として、各病院による救急診療、会員による夜間休日急患センターへの出務を行い、行政と小児救急ネットワーク部会で対策会議を継続開催している。

資料 6 ブロック報告 筑豊小児科医会

会長 森田 潤

総会を 2025 年 3 月 13 日に開催しました。会員数は 45 名（うち県会員 28 名）

1. 大野宏明先生 が 2024 年 8 月 14 日にご逝去されました（享年 93 歳）。
2. 新入会者（県および筑豊小児科医会）；波多江 健先生（嘉麻赤十字病院），藤井 績（イサオ）先生（福智町方城診療所），桑原宏輔先生（坂本医院）
3. 飯塚市の小児時間外診療について
2024 年 4 月より飯塚市立病院に小児急患センターの機能が移転開設されました。多くの会員に出務の協力をいただき順調に稼動しています。正月などの連休には診療枠を増設し、潁田病院からも総合診療医による支援を受けました。
一次診療を閉じて紹介入院と救急車対応のみとしている飯塚病院での小児時間外受診患者数は、前年度比で 20～30%にまで削減されています。
4. ワクチンを含めた薬剤の供給不足が続いており地域差も見られます。今後はお互いに支援し合いながら対応できるようにと考えています。
産科医療機関からは、母胎への RS ウイルスワクチンが高価であり、接種勧奨に対してためらいがあるとの意見があります。
5. 乳幼児健診について
1 か月児健診は飯塚医師会と協議中です。5 歳児健診も話し合いを申し出ており、ぜひ開始したいと考えています。
6. 勉強会を年 10 回開催しました（筑豊感染症懇話会／周産期懇話会とは年 1 回共催）。協賛会社による共催を減らし、小児科医会による単独開催を推進しています。

資料7 ブロック報告 筑後小児科医会

会長 長井健祐

2025年3月末までの会員数は、87名（正会員A77名、会費免除会員10名）で、県外地区（主に佐賀県）の先生方が含まれていますので、福岡県小児科医会会員は72名です。また新入会は3名、逝去退会が1名でした。

昨年度は、第60回福岡県小児科医会総会を萃香園ホテルで開催させていただき、多くの先生方にご出席いただいたことを感謝申し上げます。

主な活動として、聖マリア病院内に19時から23時まで365日開設されている久留米広域小児救急センターへの有志医師の出務があります。久留米大学小児科、聖マリア病院、開業医がそれぞれ曜日別に定められた枠に出務をしていますが、久留米大学小児科より年末年始やお盆休みについて、医師の働き方改革の影響で、今まで通りの出務が難しいと申し出がありました。当会副会長で久留米医師会担当理事でもある津村直幹先生が中心となり、交渉の結果、今年度までは久留米大学小児科の先生方に、何とか今まで通りに出務していただくことになりましたが、来年度は未定です。開業医の高齢化もあり、今後の状況が懸念され、持続可能な事業となるようシステムの見直しが必要な時期ではないかと考えております。

資料 8 日本小児科医会関係報告（紙上）

日本小児科医会 理事 石崎義人

1) 理事会報告

昨年 6 月に埼玉県大宮で開催された代議員会で理事に就任し、1 年間理事会および委員会活動に参加した福岡市の石崎です。九州地区の役員（宮崎県佐藤潤一郎理事、長崎県小野靖彦理事）の交代はありません。理事会は昨年 7 月以降、9 月 1 日、12 月 8 日、3 月 16 日、5 月 18 日、6 月 14 日（小児科医会総会フォーラムでの開催）の 5 回、開催されました（9 月 1 日のみ台風 10 号の影響により Web 開催）。

日本小児科医会執行部は、東京都の伊藤隆一先生が会長として 2 期目（4 年目）に入りました。自見英子先生のお力添えもあり、昨年に続き、自由民主党政務調査会・社会保障制度調査会が開催することもまんなか保健医療の実現に関するプロジェクトチームで発言の機会を得るなど、積極的な活動が行われています。次回診療報酬改定の基礎となる「骨太の方針 2025」の策定に際しても、OTC 類似薬の保険適用除外について、日本小児科医会の意見書を提出しております。

2024 年 11 月に MR ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）力価低下問題の原因究明のために出荷が全面停止された影響で、年度末にワクチン不足が生じる懸念が生じました。日本小児科医会公衆衛生委員会は会員を対象に、2025 年 1 月と 2025 年 2 月にアンケート調査を実施し、全国 294 医療機関（九州地区 36 医療機関）から回答があり、MR ワクチンの不足のために 3 分の 1 の医療機関で希望者に接種できていない実情が判明しました。厚生労働省感染症対策部予防接種課担当者との度重なる協議を行い、MR ワクチンの第 1 期、第 2 期、そして風疹ワクチン第 5 期（抗体保有率が低いとされる男性を対象）の定期接種期間が 2 年間延長されました。今後も日本小児科医会会員の先生方との協力で、現場感覚に沿ったデータなどの集積・分析・考察がなされ、そのデータをもって、国などの行政機関に行動変容を促すことできるような体制が構築されることを期待しています。この度の会員各位の協力に対し、日本小児科医会より心から感謝申し上げます

2) 乳幼児学校保健委員会

乳幼児学校保健委員会は 2 つの大きなテーマ、「就学以降の小児を対象としたバイオサイコ

ソーシャルな視点からの個別健診・保健指導指針の推進」と「予防接種の機会を活用した生後 2 か月からのかかりつけ医療機関における子育て支援の充実」に取り組んでいます。第 11 回 乳幼児学校保健研修会で解説された「問診から進める個別健診ガイドブック(作成：乳幼児学校保健委員会)」の誌面内の質問票を旧来会員サイト限定で公開しておりましたが、この度、どなたでもご利用頂けるよう、本サイト上で公開する事に致しました。子育て支援のための問診票(乳児期前半用)も公開しておりますのでダウンロードしてご活用ください。昨年の第 15 回乳幼児学校保健研修会は「乳児期早期の赤ちゃんを診る」～伴走型相談支援を目指した健診～をテーマに開催しました。1 か月児健診が国庫補助の対象となったのを受けて計画した研修会でしたが、現地に 21 名、WEB で 131 名が参加されました。本年 9 月の第 16 回の研修会は、「5 歳児健診 ～各地の実践例から学ぶ～ Part 2」をテーマに開催します。昨年 3 月の第 14 回研修会に引き続き 5 歳児健診をテーマにしております。各地区小児科会で今年度または来年度からの 5 歳児健診実施に向けて協議が行われていることと存じますが、医師だけでなく 5 歳児健診に関わる保健師など行政関係者も視聴できるように Web 配信を 1000 名まで対応可能に強化しております。皆様のご参加をお待ちしています。

第 16 回乳幼児学校保健研修会

<日時> 2025 年 9 月 14 日(日) 10:00 - 15:50

<会場> ビジョンセンター浜松町 現地及びライブ配信

<テーマ> 「5 歳児健診 ～各地の実践例から学ぶ～ Part 2」

* 永光先生の講演について、日本小児科学会専門医単位 (iii 小児科領域講習) 1 単位付与予定 (見逃し配信は除く)

<プログラム>

1. 5 歳児健診の現状について

福岡大学小児科教授 永光信一郎

2. SDQ、問診票について

平山医院 平山貴度

3. 非専門医によるフォローアップについて

安房地域医療センター 市河茂樹

(昼休み)

4. シンポジウム「全国各地での実際について」

山形市の集団方式について～保健師の立場から～

山形市健康医療部母子保健課主任保健師 佐々木宥輔

5歳児健診1年目を終えて～従事者へのアンケートから見えるもの～

山形市小児科医会会長 本間 彰

川崎市の個別方式について

かたおか小児科クリニック 片岡 正

園医方式について

乳幼児学校保健委員会/かずえキッズクリニック 川上一恵

資料9 2024年度 子どもの心相談医認定審査委員会報告

日本小児科医会 子どもの心対策委員会 相談医認定審査会 佐藤ゆかり
吉田

日程： 2024年8月25日（日）12:30~14:00

会場： 日本小児科医会事務局会議室（現地）と ZOOM ミーティングを利用した hybrid 開催

出席者： 現地参加※1 太田文夫、吉田ゆかり、原木真名対策委員会副委員長。

佐藤 潤一郎業務執行理事。三浦義孝副会長。

オンライン参加 竹中義人委員。宮崎雅仁、本田真美理事両理事。

オブザーバー： 現地参加

オンライン参加 野間大路対策委員会委員長。

欠席者： 柿坂佳菜恵委員。

議題：

(1)委員長の選出

相談医認定審査会委員長を竹中義人先生にお願いする。

(2)第26回「子どもの心」研修会受講記録について

慣例（以下の条件）に従い、途中入場・退場者の受講記録を承認した。

（審査会後下記要件に従いシステム障害等の連絡が入った場合は順次受講記録を修正させていただきます）

受講方法 出席と認定する条件 一部出席と認定する条件※2

現地参加 未修時間 30 分以内（入退室時、受付で記録） 未修時間 31 分以上

（同左）。但し、公共交通機関の乱れ等、来場が困難と判断された場合は出席と見做す。

WEB 参加 1 日目：以下の条件を全てクリアした場合

- ・総セッション時間 150 分以上※3
- ・初回入室時刻が 15:00 以前
- ・最終退室時刻が 17:30 以降

2 日目：以下の条件を全てクリアした場合

- ・総セッション時間 210 分以上※4
- ・初回入室時刻が 10:00 以前

・最終退室時刻が 14:00 以降 左記の条件を満たさなかった場合。但し、通信・システム障害等、本人の意思に反して視聴が叶わない場合は出席と見做す。

(3)新規登録申請者承認の件

活動歴審査は現地参加者審査に一任する旨一同の同意を得た後、申請者 94 名中、2024 年度登録者として 94 名を承認した。

(4)登録更新申請者承認の件

症例報告審査は現地参加者審査に一任する旨一同の同意を得た後、申請者 199 名中、正規更新者 198 名、暫定更新者 1 名※5 を承認した。

(5)審査結果通知書案の件

新規登録に関する通知書

・提出された学会専門医証の認定期限に 2024 年 10 月 1 日が含まれていない 5 名の申請者に対し、新しい証書が届き次第の再提出を必要とする旨を通知する書面原稿を審議した。提出期限を本年 12 月末としこれを明記する事で合意した。

・新規申請に必要な受講記録を有するが、今期申請のなかった者に対し、次年度の申請を促す案内書面を審議した（発送対象者 50 名）。

更新登録に関する通知書

・本年 9 月末で一旦相談医登録が抹消されるが、必須研修会受講者及び更新要件の一部免除の対象である未申請者に対し、次年度の更新申請を促す案内書面を審議した（発送対象者 41 名）。

(6)更新申請書類の見直しについて

相談医から更新申請書類・症例報告書が個人情報の院外持ち出しにあたるのではないかと指摘された事を受け、

現行「症例報告書」の項目について改めて確認を行った。現行の書類内容が「個人情報の院外持ち出し」に該当するか否か、専門家への確認が必要という意見もあり、相談要不要を含め、理事会の判断を仰ぐ事で合意した。

（現行症例報告書記載項目）

患者イニシャル、性別、生年月日、診断時年齢、カルテ No、主訴、診断名、以上 7 項目。

(7)その他

・今回の新規・更新者の承認により、2024 年 10 月 1 日付の全相談医登録者数は 1416 名となる。

・更新申請に際し必要な症例を 10 症例としているが、これを上回る数の症例を提出する方

も多い。審査する症例が多くなることは審査会運営上も支障がある為、過度な数の症例提出がなくなるよう案内内容を見直すこととした。

・現在の所、47 都道府県で相談医のいない県はないことを確認した。また、登録者数が少ない県には都道府県小児科医会を通じて制度紹介など何らかの働きかけが必要であるとの意見がでた。

・70 歳を超える相談医の登録者数が少ない事を確認した。登録年数が長く、経験豊富な相談医に継続して登録頂ける様、更新要件免除の規定を含め議論した。要件免除の対象年齢や免除者の手続き方法については従来通りとし、ネット・メール利用に偏らない方法で各種案内を行っていく事で合意した。

(文責 佐藤 潤一郎)

※1：審査上、書類審査の一部を現地参加者に一任。

※2：一部出席の記録は新規相談医申請には利用できない。また、更新申請の際は必須研修会単位として利用できない。

※3：60 分演題×3 題の計 180 分プログラムで未修時間が 30 分以内。

※4：60 分×4 題の計 240 分プログラムで未修時間が 30 分以内。

※5：必須研修会受講要件以外の更新要件を満たした者が対象。次年度、必須研修会の受講をもって正規更新となる。

資料 10 子どもとメディア委員会報告（紙上）

九州医療センター小児科/ときつ医院 佐藤 和夫

- 1) 2024 年度は委員会が 3 回(4/14、9/16、1/26)開催された。
子どもとメディアに関する様々な状況・各地域での啓発活動等の情報交換を行った。
- 2) 医会会員に向けて、子どもの心研修会（4/29 子どものネット依存と学校での啓発活動：山田委員）、第 3 回地域総合小児医療ブラッシュアップセミナー前期（11/24 乳幼児と電子映像メディア：佐藤委員）で、子どもとメディアに関する講演を行った。

- 3) 就学前の幼児の親（保護者）向けの啓発ポスターの作成を行った。
「デジタル社会の子育て 幼児期に大切にしたいこと」：幼児期の健やかな育ちに大切なことを主に延べて電子メディアの影響を周知する内容となっている。
2024 年 12 月に会員に配付した。是非日常診療で活用して頂きたい。
(ポスターはホームページからダウンロード可)。

https://www.jpaweb.org/dcms_media/other/digital_kosodate2024.pdf



- 4) 2025 年度の計画
 - (1) 総会フォーラム in KOBE で委員会企画のシンポジウムを開催(オンデマンドあり)
「デジタル時代の子育て・子育て ～本当に大丈夫?～」
 - 1.乳幼児のデジタル漬けに警鐘を鳴らす
 - 2.地域での小児科医の役割
 - ①乳幼児への啓発
 - ②学校医として何をやってきたか、何ができるか
 - ③多職種の連携と勉強会の役割
 - ④地域のメディアインストラクター養成に関わって
 - 3.ICT（情報通信技術）教育の落とし穴
 - 4.子どもとメディアの問題に関する啓発の経緯
 - (2) 眼科、耳鼻科、整形外科、保育など子ども関わる他団体との懇話会開催
 - (3) 少子化対策子育て支援委員会事業の記者懇談会で発表（対外的に広く周知）

資料 11 日本小児科医会令和 6 年度国際委員会報告

岡田純一郎、進藤静生

1) 調査研究事業

(1) 事業名称：在日外国人定期予防接種における自治体の外国語対応についての調査
全国自治体の在日外国人に対する定期接種の間診票やスケジュール管理などの外国語サービスの整備状況についてアンケート調査を行った。

実施期間 2025 年 2 月 21 日～3 月 19 日

実施方法 全国 1,741 自治体の「予防接種ご担当者」宛に案内状及び調査票（FAX 回答用紙）を送付した。回収数 475 件（回収率 27.3%）有効数 447 件（回答率 25.7%）であった。

調査結果は、2025 年度中に日本小児科医会会報等に報告予定である。

2) 学術集会及び研修会事業

(1) 事業名称：国際的視点から考える「これからの小児医学・小児医療」研修会を公衆衛生委員会と共催で開催した。

開催日 2024 年 10 月 20 日（日）開催場所 ビジョンセンター新橋

オンデマンド配信：11 月 20 日正午～12 月 20 日

講演 1「日米の予防接種制度を比較する。」

講師 勝田友博先生（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科医長 小児科学准教授）

【要旨】①有害事象の評価方法，②予防接種施策決定方法と補償，③接種費用，を主な論点として日米の予防接種制度を比較することにより，現時点においても残存する日本の予防接種制度の課題について解説していただいた。

講演 2「新生児スクリーニングをアメリカと比較して学ぼう」

講師 大石公彦先生（東京慈恵会医科大学小児科学講座主任教授）

【要旨】脊髄性筋萎縮症（SMA）やボンベ病など、以前は治療がなかった難治性疾患も、新薬の

開発により早期介入が可能となり、各自治体で新生児スクリーニングの対象となりつつあります。多くの疾患は稀少で病態も複雑であるが、日本とアメリカのシステムを比較しながら、新生児スクリーニングの概要をわかりやすく説明していただいた。

参加者は、現地 17 名（会員 13 名・非会員 4 名）、オンデマンド 52 名（会員 51 名・非会員 1 名）合計 69 名であった。

（2）日台韓合同拡大国際委員会

2024 年 9 月 26 日 19 時～21 時に WEB で開催した。

目的：日本・台湾・韓国の少子化による小児科医療の変化を知る

指定発言

1) The current state of Japan's low birthrate and pediatric healthcare

岡田純一郎 国際委員会委員・岡田こどもクリニック院長

2) The Difficult Issues We Face in the Era of Low Birth Rate

Prof. Wang-Tso Lee Superintendent, NTU Children's Hospital

3) Taiwan's Most Pressing Medical Issues

Dr. Chi-Cheng Hsiao Dr. Chen Kuo-Chun Pediatrics Clinic

4) Present Problems in Korean Pediatrics Dr. Yoo-Mi Chung

台湾、韓国では出生率の低下にともない、小児科医の待遇（年収を含め）が他科と比較して悪いため、小児科希望者が減少傾向にある。各国で少子化対策が取られているが、どの対策もまだ効果を発揮していない。

日本からは 33 名、台湾からは 12 名、韓国は 1 名の参加であった。

3）普及啓発及び支援事業

（1）ホームページを利用したの情報提供

①事業名称：海外滞在者・渡航予定者（小児）のための WEB 医療相談

2024 年度は 13 件（延べ 14 件）の相談があった。内容は、予防接種関係 9 件、思春期早発・体重増加不良・長引く微熱・発熱と発疹であった。

②事業名称：海外医療情報提供

目的：日本小児科医会会員へ海外医療情報を提供し、外国人診療に活用していただく。

日本小児科医会 HP に下記を掲載した。

* 外国人患者診療支援サイトまとめ

● 渡航先の医療情報を知りたい <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

世界の医療事情 外務省

● 外国語の予防接種予診票が必要 <https://www.yoboseshu-rc.com/pages/8/>

外国語版予防接種予診票 公益財団法人予防接種リサーチセンター

外国人のいる救急現場で困ったら

https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/gaikokujin_syougaisya_torikumi/san-shakan-douji-tsuuyaku.html

三者間同時通訳による 119 番多言語対応 総務省消防庁

(2) 事業名称：ベトナム医療技能向上支援事業

ベトナム当局との交渉に時間がかかり、年度中に開催できなかった。

(3) 事業名称：ミャンマー小児医療支援

ミャンマー情勢が不安定で、ネット環境も悪いため、実施でなかった。

(4) 事業名称：ウクライナ避難民小児への医療支援の普及

避難後 3 年目に入り日本財団と支援の契約ができず、ウクライナ避難民の医療支援の願いを継続できなかった。今後は在日外国人支援事業として支援を継続する。

国際委員会は総会フォーラム時（埼玉）と 2023 年 12 月 15 日（事務局）に開催した。

資料 12 日本小児科医会 小児救急医療委員会（紙上）

文責 2025 年 6 月 16 日 神蘭淳司

2024 年度 小児救急医療委員会活動報告および 2025 年度事業計画（案）

1. 2024 年度の活動概要

本年度、小児救急医療委員会では、全国の小児救急体制の実態を把握し、均てん化・質向上を目的とした調査研究と啓発活動を進めた。以下に、主な事業内容と成果を報告する。

2. 事業の詳細

（1）小児救急アンケート調査（8～9 月実施）

全国 47 都道府県の小児科医会を対象に、小児救急体制の現状と課題を明らかにする目的で実施。43 都道府県からの回答を得た。

主な分析結果：

- 家庭看護力醸成活動を実施している県は 50%にとどまる。
- 小中学生への蘇生教育が未実施の自治体が全体の 6 割。
- 休日夜間診療体制の維持に課題（特に外科系診療科の協力が得にくい）。
- 小児医療協議会が未設置の県が約 4 割。
- 子ども虐待事例における日常的な連携の欠如（約 7 割が未実施）。

回答は「地域小児救急全国協議会」（10 月 6 日開催）にて報告・討議された。

（2）#8000 情報収集分析事業（厚労省委託事業）

2017 年より継続実施している本事業では、2024 年度も全都道府県が参加し、約 27 万件の相談データを収集・分析した。年少児（3 歳未満）が 48%、第一子または一人っ子家庭が過半数を占めた。

主な相談内容：発熱・呼吸器症状・泣き止まない・便尿の異常・薬剤相談などが多く、外因系や処方薬の問い合わせも顕著であった。

課題：

- 外因系疾患への対応体制が地域により不均一。
- 診療後の転帰把握が困難（#8000 相談と救急受診との接続データなし）。
- 応答率や通信混雑（話中）などシステム上の問題。

改善策：

- 時間帯別ピーク（18～20 時／日祝日昼）のため、準夜帯の対応強化や日祝日対応

時間の再検討を提案。

- AI 導入や音声認識等の技術活用も引き続き検討中。

(3) 第 8 回小児救急研修会 (2024 年 9 月 29 日)

Web 開催とオンデマンド配信で実施され、145 名が参加した。講演内容は以下のとおり：

- 能登半島地震対応から学ぶ災害時の小児救急医療
- 小児の自傷・自殺、虐待対応のエッセンス
- #8000 など小児救急情報ツールの最新情報

日本小児科学会専門医単位 (2 単位) を付与。今後も年 1 回の開催を継続予定。

(4) 家庭看護力醸成サイト・マニュアル

家庭内での初期対応力を高めるための情報発信に注力し、日本小児科医会 HP 上に専用サイトを整備。各都道府県の救急ガイドブックやオンライン診療情報へのリンクも再整理を実施。

印刷用「家庭看護力醸成マニュアル」は現在校正中であり、2025 年度中の発行・配布を予定

(5) オンライン診療の現状調査と提言

アンケート調査では、オンライン診療への積極的な姿勢は 6.8%にとどまり、25%が困難との回答。一方、かかりつけ患者への限定対応を認める傾向 (65.9%) が示された。夜間の救急外来縮小を背景に民間事業者 (ファストドクター) へオンライン診療を委託する地域もあり、新たなモデルも出現しており、委員会でも引き続き検討を行う。

3. 2025 年度事業計画 (案)

(1) 小児救急アンケート調査 (8 月実施予定)

- 内容：項目を再検討し、都道府県の体制整備・課題の把握を継続。
- 方法：Google フォームを使用。県内意見集約の時間確保を考慮。
- 県内での地域格差の大きい都道府県も多く、医療圏や地区小児科医会の代表に調査を実施
- 担当：高杉、杉本、小田切、藤森、神蘭

(2) #8000 情報収集分析事業 (継続)

- 分析対象：2025 年度も全国を対象とし、AI 活用を強化。
- 会議体制：WG 定例会 (週 1 回)、都道府県・事業者個別会議 (3 月)
- 課題：診療後転帰のフィードバック体制やマニュアル改訂の検討。

(3) 医療資源が乏しい地域の実態調査 (新規 (1) と同時のアンケート調査を検討)

- 内容：医療体制課題の抽出を図る。

- 方法：アンケートおよび自由記述方式。
- (4) 第9回小児救急研修会（2025年9月28日）
- 予定テーマ：外傷診療（成育植松先生）診断エラー（兵庫こども鉄原先生）、小学生向け蘇生教育の3テーマとする。
- 配信形式：Zoom ライブ+オンデマンド 2週間
- 参加見込み：300名程度
- 4. 今後への提言と連携に向けた福岡県小児科医会会員へのお願い
- 地域における#8000 体制や外因系医療体制の標準化に向けて、福岡県内の体制整備や事例収集へのご協力、さらに特に#8000 アンダートリアージ例の収集をご検討ください。
- 家庭看護力醸成の推進において、保護者啓発や教育現場でのツール活用を地域と連携して進めたい。福岡県内での実践例や行政との取り組み事例を是非お聞かせください。
- オンライン診療や民間事業者（ファストドクター等）および AI の導入に関して、福岡県としての事例や意見、さらに問題点も積極的にご提供ご意見いただけると幸いです。

今回のご報告は以上のとおりです。福岡県を代表して委員会メンバーとしては今後も現場の実情を丁寧に拾い上げ、調査研究・教育普及・政策提言に一貫して取り組んでまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

資料 13

協議事項

第 1 号議案：福岡県小児科医会役員改選の件

第 2 号議案：R6 年度決算の件

第 3 号議案：R7 年度予算の件

第 4 号議案：福岡県小児科医会・会費改定の件

第 1 号議案：福岡県小児科医会役員改選の件

各地区役員交代に伴い、

福岡県小児科医会役員 2 名を次のように改選する

宗像地区選出理事

宮原道生先生（宮原小児科医院）退任 → 城谷吾郎先生（共立医院）新任

北九州地区選出理事

西村慎太郎先生（西村医院）退任 → 小松千代先生（小松医院）新任

尚任期は 2 名とも I 期 2 年とする（再任を妨げない）

第2号議案：R6 年度決算の件

2024 年度(令和 6 年度) 福岡県小児科医会 決算

収入の部

項目	2024 年度予算	2024 年度決算	摘 要
〔1〕 会 費			
県小児科医会	3,788,000	3,810,000	開業医 : 12,000 円×290 人 勤務医等 : 5,000 円× 66 人
九州小児科医会	706,000	712,000	2,000 円×356 人
〔2〕 総会懇親会費	500,000	605,000	1 万円×57 人+聖マリア病院スタッフ分
〔3〕 学術研修補助費	100,000	100,000	県医師会より
〔4〕 広告代	60,000	220,000	6 社
〔5〕 雑収入	100	3,673	預金利息
〔6〕 前年度繰越金	8,716,045	8,716,045	
計	13,870,145	14,166,718	

支出の部

項目	2024 年度予算	2024 年度決算	摘 要
〔1〕 九州小児科医会会費	706,000	712,000	2,000 円×356 人
〔2〕 総会・懇親会			萃香園(久留米)ホテル
総会 等	1,000,000	1,217,165	
懇親会	1,000,000	716,600	
〔3〕 会長副会長会・役員会			
会議費	50,000	48,000	
出務費	300,000	185,000	出務費は 5000 円/回
〔4〕 役員合同研修会			
会議費	100,000	44,000	
出務費	100,000	90,000	出務費は 5000 円/回
〔5〕 役員事務通信費	130,000	130,000	会長・庶務 : 5 万円・会計 : 3 万円
〔6〕 会報編集費	2,000,000	1,909,434	編集会議・印刷費・原稿謝礼 等
〔7〕 出張旅費補助・出務費	300,000	380,000	九州小児科医会・社国保審査員連絡会
〔8〕 事務通信費	100,000	82,933	ZOOM・事務委託料・振込料・文具等
〔9〕 会員名簿作成	300,000	332,525	
〔10〕 慶弔費	50,000	70,000	あかひげ大賞・功労賞お祝 等
〔11〕 学会補助(寄付)	0	310,000	第 16 回日本子ども虐待医学会学術集会 NPO 法人ニコちゃんの会
〔12〕 予備費	7,734,145		
〔13〕 次年度繰越金		7,939,061	
計	13,870,145	14,166,718	

監査報告：2024 年度福岡県小児科医会歳入歳出決算において帳簿並びに通帳等を精査したところ

違算なく正確であったことを認めます。 令和 7 年 6 月 17 日

監事 佐藤 剛 監事 下村 国子

第3号議案：R7年度予算の件

2025年度(令和7年度)福岡県小児科医会 予算

収入の部

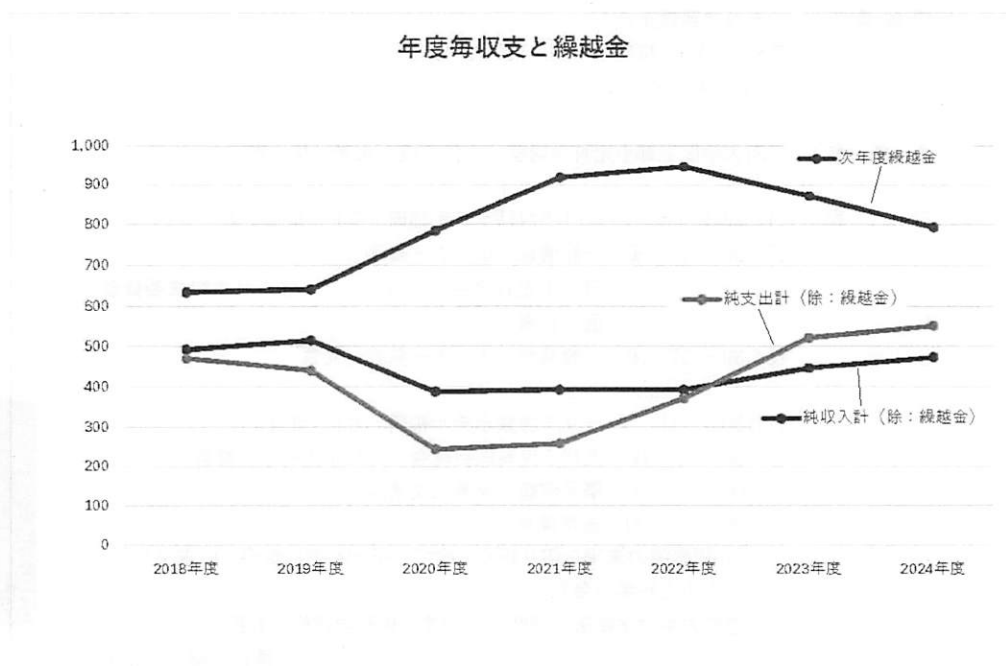
項目	2024年度決算	2025年度予算	摘 要
〔1〕会 費			
県小児科医会	3,810,000	3,810,000	開業医：12,000円×290人 勤務医等：5,000円×66人
九州小児科医会	712,000	712,000	2,000円×356人
〔2〕総会懇親会費	605,000	750,000	15,000円×50名
〔3〕学術研修補助費	100,000	100,000	県医師会より
〔4〕広告代	220,000	200,000	
〔5〕雑収入	3,673	3,000	預金利息
〔6〕前年度繰越金	8,716,045	7,939,061	
計	14,166,718	13,514,061	

支出の部

項目	2024年度決算	2025年度予算	摘 要
〔1〕九州小児科医会会費	712,000	712,000	2,000円×356人
〔2〕総会・懇親会			博多エクセルホテル東急
総会 等	1,217,165	1,000,000	
懇親会	716,600	1,000,000	
〔3〕九州小児科学会		100,000	ソラリア西鉄ホテル
〔4〕会長副会長会・役員会			
会議費	48,000	50,000	
出務費	185,000	200,000	出務費は5000円/回
〔5〕役員合同研修会			
会議費	44,000	50,000	
出務費	90,000	100,000	出務費は5000円/回
〔6〕役員事務通信費	130,000	130,000	会長・庶務：5万円・会計：3万円
〔7〕会報編集費	1,909,434	2,000,000	編集会議・印刷費・原稿謝礼 等
〔8〕出張旅費補助・出務費	380,000	400,000	九州小児科医会・社国保審査員連絡会
〔9〕事務通信費	82,933	100,000	ZOOM・事務委託料・振込料・文具等
〔10〕会員名簿作成	332,525	0	
〔11〕慶弔費	70,000	50,000	
〔12〕学会補助（寄付）	310,000	100,000	
〔13〕予備費		7,522,061	
〔14〕次年度繰越金	7,939,061		
計	14,166,718	13,514,061	

第4号議案：福岡県小児科医会・会費改定の件

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
純収入計（除：繰越金）	4,931,047	5,157,046	3,878,055	3,928,035	3,928,035	4,468,073	4,738,673
純支出計（除：繰越金）	4,715,028	4,408,322	2,439,825	2,586,252	3,712,726	5,215,960	5,515,657
次年度繰越金	6,333,812	6,408,536	7,846,766	9,188,549	9,463,932	8,716,045	7,939,061



1. A 会員、B1 会員
年会費：12,000 円 → 15,000 円
2. B2 会員、C 会員、自宅会員
勤務医：5,000 円 → 6,000 円
3. 令和 8 年度より改定とする

資料 14

第4分科会 小児科学会

— 第78回九州小児科学会 —

[開催日時] 令和7年11月29日(土) 13:30～
令和7年11月30日(日) 8:30～

[開催場所] ソラリア西鉄ホテル
〒810-0001 福岡市中央区天神2-2-43
TEL 092-752-5555

[会長名] 福岡大学医学部小児科学講座 主任教授 永光 信一郎

[日程] 11月29日(土) ソラリア西鉄ホテル福岡 7F「ルミナス」
13:30～15:30 一般演題:ポスター掲示
日本小児科学会ダイバーシティキャリア形成委員会
展示企画
15:30～17:30 一般演題:ポスター発表・投票

11月30日(日) ソラリア西鉄ホテル福岡 8F「北斗」
8:30～9:00 九州小児科医会総会、九州小児科学会総会
9:00～10:20 優秀演題・優秀論文講演
10:20～11:20 基調講演
「小児医療の未来を切り拓く～全ての子ども達に輝かしい未来を～」
日本小児科学会会長
京都大学大学院医学研究科 発達小児科学講座 教授
滝田 順子 先生
11:20～12:20 特別講演
「最近増えているこどものおなかの病気
～機能性消化管疾患と炎症性腸疾患を中心に～」
久留米大学医学部 小児科学講座 教授 水落 建輝 先生
12:20～12:30 演題賞および論文賞 表彰式

[演題申込方法] 1. 一般演題
応募条件:11月29日(土)のポスターセッションで発表を行い、優秀演題に選ばれた場合、11月30日(日)に
現地発表が可能なこと
演題申込期限:8月30日(土)

分科会案内

2. 論文

応募条件：各大学医局宛にお送りします。

優秀演題に選ばれた場合、11月30日（日）に現地発表が可能なこと

〔演題申込先・抄録送付先〕

担当 福岡大学病院小児科 宮本 辰樹・後藤 綾子

〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45-1

福岡大学医学部研究棟本館5階 小児科医局

TEL 092-801-1011 FAX 092-863-1970

E-mail : miyamoto33@fukuoka-u.ac.jp

asugiyama@fukuoka-u.ac.jp

※一般演題・論文に関する詳細は、各大学医局長、代議員へメールにてご案内します。

〔各種委員会〕 九州小児科医会 各種委員会、役員会

日 時：令和7年11月29日（土） 13：30～

会 場：ソラリア西鉄ホテル福岡

審査員連絡協議会

（13：30～15：30 ソラリアホテル8F「月光」）

医会役員会

（15：30～17：30 ソラリアホテル8F「聖天」）

九州小児科学会 関連委員会、代議員会

日 時：令和7年11月29日（土） 13：30～

会 場：ソラリア西鉄ホテル福岡

九州小児科学会代議員会・運営委員会

（13：30～15：30 会議室「聖天」）

〔関連行事〕 九州小児科野球大会

キャプテン会議：令和7年11月28日（金）18：00～19：00

福岡大学病院内での開催予定

大 会：令和7年11月29日（土） 8：00 開会式 8：30 試合開始

野球場：（未定）

九州小児科学会・医会合同懇親会

日 時：令和7年11月29日（土） 18：30～20：00

会 場：ソラリア西鉄ホテル福岡 8F「月花」

第61回

福岡県小児科医会総会

会場のご案内



博多エクセルホテル東急

福岡県福岡市博多区中洲4-6-7 / TEL.092-262-0109

公共交通機関でのアクセス

- JR博多駅より車で約7分
- 地下鉄中洲川端駅
 - ①番出口より徒歩約1分(階段)
- 地下鉄中洲川端駅
 - ④番出口より徒歩約2分(エスカレーター)

お車でのアクセス

- 駐車場:52台(無料)
- 福岡ICより
福岡都市高速<呉服町ランプ>経由 約5分
 - 太宰府ICより
福岡都市高速<千代ランプ>経由 約8分